令和３年６月９日

同窓会員各位

石川県立大聖寺高等学校
校　　長　土山　樹一郎
同窓会事務局　東野　　哲弥
進路指導課　廣田　　学

通信添削の学校団体受講導入のご案内

夏の兆しが感じられる清々しい向夏の折、同窓生の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。日頃より本校の教育活動にご理解いただき感謝申し上げます。

生徒数の減少に伴い、現在大聖寺高校は各学年４クラスとなりました。

平成２８年度に創設された特進クラス（通称ＳＰＡＲＫＳ）によって上位層への集団指導が実を結び、平成３０年度には旧帝大合格者が３名、令和元年度は１名を輩出しておりましたが、令和２年度は合格者を出すことができませんでした。

学校としましては、昨年度から「難関クラブ」を立ち上げ、１年生から３年生で縦のつながりを持った学習集団づくりに着手しております。難関大学合格に向けた心構えや学習方法、実験など多彩な講義を行って参りました。しかし、昨年度からの大学入試制度改革により、大学受験は大きく様変わりしました。センター試験は共通テストに代わり、一層難化しました。また、多くの大学で特別入試（総合型選抜・学校推薦型選抜）での入学定員を大きく増やしております。後者に対し本校は、昨年度特別入試の出願数、合格者数をともに伸ばすことができました。さらに今年度は、Classi を導入するなど特別入試に対する取り組みをさらに強化しております。一方で、昨年度本校の生徒が思うような点数がとれず苦しんだのが前者の共通テストです。内容は１・２年での既習事項が中心であること、読解力が必要な問題が多く出題されることから低学年指導がより一層必要なテストへと変容しております。

この現状を打破するためには、１・２年次から継続的に質の高い問題を解くことで読解力や思考力を育てていくことが不可欠です。そこでＺ会の通信添削を学校として採用することにいたしました。個人申込よりも安い学校価格で受講できること、学校を介した教材のやりとりになるため、各個人の取り組み状況を把握できることで本校の生徒に適した教材であり、加えて教員の指導力向上にもつながる取り組みであると確信しております。

こういった学校の動きに対し、同窓会から難関クラブに対する支援をしたいという申し出を受けました。非常にありがたいお話であり、同窓会の支援をいただくことで、この添削指導が生徒達にとって受講しやすいものになりました。この添削指導を加え、本校の進路指導をより充実させることで難関大学の合格者を継続的に輩出していける大聖寺高校であり続けたいと考えております。